

“今”子どもたちが継承する伝統芸能

島根県には豊かな自然と風土に生まれ脈々と受け継がれてきた誇るべき伝統芸能や郷土芸能が数多く残されています。

今回の「子ども伝統芸能フェスティバル」では、地域に支えられ伝えられた貴重な伝統芸能について、未来を担う子どもたちが各地域で継承している芸能を発表します。先人への敬意や自然への畏怖を持ち、舞い踊る、子どもたちの姿をぜひご覧ください。



大土地神楽【出雲神楽】

大土地神楽保存会神楽方(出雲市)

国の重要無形民俗文化財の大土地神楽は、古くから大土地荒神社の神主によって舞われ、子供神楽も300年以上途絶えることなく民衆によって受け継がれている。毎年行われる大土地荒神社例大祭のほか、出雲大社例祭での奉納、県内外での公演、アメリカやフランスでの公演活動も行っている。

子鷺踊り

子鷺踊り保存会(津和野町)

津和野町で1500年代より継承する国の重要無形文化財「鷺舞神事」を受け、子どもたちの豊かな情操を育てようと昭和33年に創作された舞。毎年7月20日・27日の祇園祭で行われる鷺舞神事に合わせ、町内を踊り歩き、町民に愛され親しまれる津和野の夏の風物詩。



ホーランエンヤ、祇園太鼓

江津子供ホーランエー育成会(江津市)

江津市に江戸時代から伝わる船神事「ホーランエー」を継承しようと地元の江津市立郷田小学校の児童を中心に受け継がれる文化行事。毎年江津の伝統文化である江津祇園太鼓と共演し、地域の文化祭などで発表している。



隠岐国分寺蓮華会舞

隠岐国分寺蓮華会舞保存会(隠岐の島町)

平安の頃より1200年の歴史を誇る隠岐国分寺蓮華会舞は、宮廷舞楽の流れを汲む貴重な芸能として昭和52年に国の重要無形民俗文化財に指定。古代の宗教儀式の様子を色濃く残し、インド、中国、朝鮮半島など広く東アジア各地の舞踊の流れを汲んでいる。



シッカク踊り

水上町郷土芸能保存会(大田市)

水上神社(大田市水上町)に平安時代から伝わりとされる県の無形民俗文化財。田楽芸能として、毎年10月の水上神社例大祭で奉納している。十二支になぞらえて十二番踊る素朴な田楽舞で、青と茶色の狩衣装に赤だすき、頭には竹の編笠に桜の造花をつけ、太鼓やささらを鳴らしながら演じる。



石見神楽【大元神楽伝承】

川戸子供神楽社中(江津市)

川戸子供神楽社中は、昭和3年頃沖市集落でのえびす講が発祥で、川戸地区で7年ごとに行われる大元神楽を伝承しており、テンポのゆったりとした6調子の神楽である。今回の公演では特にゆっくりと低く舞う「鍾馗」を上演。



オープニング

川平町田植えばやし

川平町田植えばやし保存会(江津市)

江津市川平町で五穀豊穡を願い、伝統文化継承、地域活性化事業として毎年5月に行われる「花田植」。本公演では地元の江津市立郷田小学校の5年生が学習の一環として行っている田植えばやしの一部を披露。



プレイガイド

【松江市】島根県民会館チケットコーナー／【出雲市】出雲市民会館
【大田市】大田市民会館／【江津市】江津市総合市民センター
【浜田市】石央文化ホール【益田市】グラントワ総合案内カウンター

主 催：島根県・(公財)しまね文化振興財団(島根県民会館)

後 援：島根県教育委員会・江津市・江津市教育委員会

補 助：文化庁

平成28年度文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

お問合せ先 島根県民会館 文化事業課 Tel.0852-22-5508



【会場】江津市総合市民センター 会場電話番号 Tel.0855-52-2155

